

発行：ひとちなかの環境を良くする会
会長 栗田 裕子
編集：広報委員会
監修：ひとちなか市環境保全課
TEL：029-273-0111 (内3312)

環境から版

行事・予告

《森林保全活動》

第4回 1月17日(土)
第5回 2月21日(土)
第6回 3月21日(土)
時間：9時30分～12時
場所：市内美田多町地区
問い合わせ先：磯前博巳
(029-264-1084)

産業交流フェア「みんなの消費生活展」に参加



パネルを見ながらクイズに答える参加者

11月2、3日の2日間、市総合運動公園で開催された「みんなの消費生活展」に、本会の環境四季時計「秋祭り」を兼ねて参加しました。今回は「きみの一歩で世界がまわる」をテーマに様々な省エネルギーグッズや再生可能エネルギーの普及啓発活動を行いました。環境を楽しく学ぶことを目的とした、当会員手作りの「足踏み発電機」体験による、ミニ

発電の仕組みや大きな電力を作ることの難しさを知るコーナー、ワットチェッカー(消費電力測定器)を利用してLED電球、電球型蛍光灯、白熱電球の消費電力量に差があることを学ぶコーナー、携帯型太陽光発電機で蓄電した電力を使った携帯電話の充電サービスなど、多くの方に参加いただきました。

また、本会の活動を紹介したパネルに答えが隠されている環境クイズ、森林保全活動で伐採した竹を利用して作った「竹ぼっくり、竹トン

環境四季時計「冬祭り」

環境シンポジウムを開催します

来春 2月11日(水・祝)

平成27年2月11日(水)午後1時30分からワークプラザ勝田多目的ホールにて、環境四季時計「冬祭り」環境シンポジウム2015を開催します。

好会のパフォーマンスや、昨年も好評だった『大抽選会』を予定しております。
『ES&CO』として、ひとちなかをテーマに、わがまち「ひとちなか市」の環境について、考えるきっかけになれるよう企画中です。皆様のご来場をお待ちしております。

ボ、竹のブンブンこま」の体験コーナーなどには、多くの子供たちも参加し、歓声を上げていました。(2日間で約600名参加)
なお、当日会場で実施したアンケートでいただいたご意見については、今後の会の活動に活かしていきたいと考えています。ご協力ありがとうございました。



竹細工おもちゃの説明



昨年の環境シンポジウムの様子

『ひとちなかの環境を良くする会』は、ひとちなか市が策定した「ひとちなか市環境基本計画」に基づき計画の推進母体として設立され、市民、民間団体、事業者及び市が互いに協力し、市民の身近な自然や環境を大切にすることを育むこと、また、環境保全行動の定着を図ることを目的に活動しています。

具体的には、ごみ問題、地球温暖化防止、自然環境保全のテーマ毎に取組を計画し活動を行っています。より多くの市民や事業者が参加・行動できるような事業を行いたいと張り切っています。

～会員を募集しています～

身近な環境活動に興味がある方。また、団体・事業所も参加できます。一緒に活動しませんか?

問合せ・申込先：ひとちなか市環境保全課Tel.273-0111 (内3312)

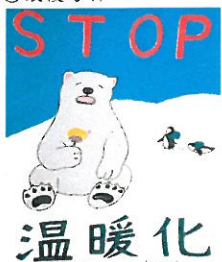
環境保全啓発ポスターコンクール受賞作品 【最優秀賞・優秀賞】

〔地球温暖化防止部門〕

〔まちをきれいにする部門〕

〔自然環境保全部門〕

◎最優秀作品



田彦中3年 齋藤竜也さん

優秀作品



阿字ヶ浦中2年 寺門七菜さん

優秀作品



田彦中3年 渡部真衣さん

優秀作品



田彦中1年 高田昇生さん

◎最優秀作品



三反田小6年 須藤育永さん

優秀作品



那珂湊三小5年 大内美咲さん

優秀作品



中根小4年 鈴木杏実さん

優秀作品



外野小5年 富田未来さん

◎最優秀作品



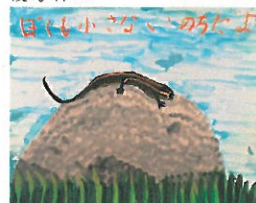
外野小2年 根立侑和さん

優秀作品



外野小3年 渡邊晴稀さん

優秀作品



前渡小2年 橋本終子さん

優秀作品



中根小3年 多川侑真さん



発表者の質疑応答の様子

再生可能エネルギーの利活用を目指して

第4回環境ディスカッション開かれる

今年度2回目の環境ディスカッションを10月11日(土)午後、生涯学習センターで開催しました。テーマは前回のディスカッションで関心の高かった「再生可能エネルギー」について、ひたちなか市にどのようなエネルギーがあり、どのように利用できるのかを、1組5名の3グループが討議・発表し、全体で意見交換を行いました。

●家庭から出る生ごみや、生産高日本一である干し芋の加工残さ、竹林伐採の竹なども、バイオマス発電資源として利用してはどうか。
●海浜公園に、観光スポットになるようなオブジェ風の風力発電機を設

置してはどうか。

●常設用の小水力発電は一台数百万円することや水利権の問題もあるが、小水力発電装置の手作りキットは数万円程度で購入でき、緊急時には使用可能である。

これら全てに、蓄電の必要性と実現への難しさがあり、蓄電に関する討議を次回以降のテーマにすべきとの意見がありました。

「今後もやれる事から始め、再生可能エネルギーの利用と啓蒙(けいもつ)のために努力していこう」との気持ちを新たに、閉幕しました。

フードマイレージ講座 今年も開かれる

本会のフードマイレージチームは、8月8日(金)しあわせプラザで開催された、市内小・中学校の先生方を対象とした「環境教育研修会(市教育委員会主催)」において、「私の食が地球・世界を作る」と題した講座を行いました。



参加された先生方からは社会、理科、家庭科など、それぞれの科目から環境問題を捉え、その思いや感想を共有し、今後の授業に活用したいと意見を頂きました。

キャンドルナイト

で地球環境を考える

8月30日(土) 環境四季時計・夏祭り「キャンドルナイト」を「節電」をテーマに、東石川第2公園で開催しました。

小学生のやんさ太鼓でスタートし、キャンドルの点灯式、続いてヒップホップダンス、茨城高専の学生によるジャグリングが披露された他、トランペット、環境劇、弾き語りの会の演奏、イキイキ表現団の踊りなど、大いに盛り上がりました。また、フリーマーケットも同時開催



熱演 環境劇

夏祭りで「ワンネス・エコ・ひたちなか」による環境劇が披露されました。僅か10分という短い時間に、省エネやごみ削減などの身近な環境問題を始め、紫外線や電磁波、環境ホルモン、遺伝子組み換え食品な

され大勢の人が楽しみました。この夜に合わせ、159の店舗と会員事業所にライトダウンの呼びかけ

し、ご協力をいただきました。キャンドルの灯に見とれつつ、地球環境について考えた夏の夜でした。

ど、普段忘れがちな環境問題が童話の世界の人氣者になりきって語られ、その分かりやすく楽しい話に大きな拍手が起りました。

携帯型 太陽光発電機も活躍

今回の夏祭りでは、本会が「再生可能エネルギー」普及のために、民間の環境助成金で購入した携帯型太陽光発電機で充電した電力が、夜間照明用の一部使われ、発表者のパフォーマンスを力強く彩りました。

生ごみ堆肥化 協力者の声

本会では、平成23年から生ごみ堆肥化実証試験を開始、24年からは家庭の生ごみ回収の実験に重点を置き、延べ185世帯の方々に生ごみ提供のご協力をいただきました。協力者のご意見ご感想を要約して報告します。

「分別は大変かと思ったがすぐに慣れもって長く続けて欲しかった。」「可燃ごみが半分になり、毎回出さなくてすむ。ごみ減量になる。」「我が家の生ごみがリサイクルされると思うと増々やる気が出た。」「生ごみ堆肥化大賛成。市が中心になって実現して欲しい。」「生ごみを分別しているうちに他の資源物も分別してい

る自分を発見。」「見学会時の説明を聞き、自分で生ごみ堆肥作りを始めてみた。」「慣れて来たら終わってしまい残念。」「家庭で堆肥作りが出来るとうい。」「堆肥化実験終了。今後は焼却ごみに出すのがもったいない。」「生ごみ

リサイクルが当たり前になってほしい。」「その他「従来どおり焼却ごみに出す。」「という声もありました。」「生ごみ堆肥化に積極的な意見が多く、具体的な提案もあり、本会の活動に力強い後押しを感じました。」「

かわらちゃん

ちゃん

たなべゆきこ



※ 次回の「ディスカッション再生エネルギー」にお越し下さいませ。

わがまちの 環境活動

大島コミセン地区地域づくりの会
同地区環境部会長 関口紀美

環境美化活動として大島コミセン前道路の植栽マスへの花植栽及び除草作業を年2回(春、冬)実施しています。環境部会員と婦人会メンバーからご協力を頂いて、今年は雨のなかの作業となりましたが、花が咲くのをイメージしながら元気に作業にあたりました。作業終了後のお茶会では、一致団結して作業を行った喜びを分かちあいました。

また、9月には研修活動として、ひたちなか・東海クリーンセンターの見学会を実施しました。最新の設備のすごさと効率の良さに感動を受けて、ゴミ減量化への推進に皆で大いに取り組んでいかなければならないと、決意を新たにしました次第です。



環境かわら版

環境かわら版の歩み

環境かわら版は、平成21年3月25日、本会の会報として第1号が発行され、本号で18号となりました。

これから展開する活動のお知らせや、すでに実施した行事の報告、各種紹介記事などをお届けして、平成24年の第11号からそれまでの回覧版方式から各戸配布になりました。

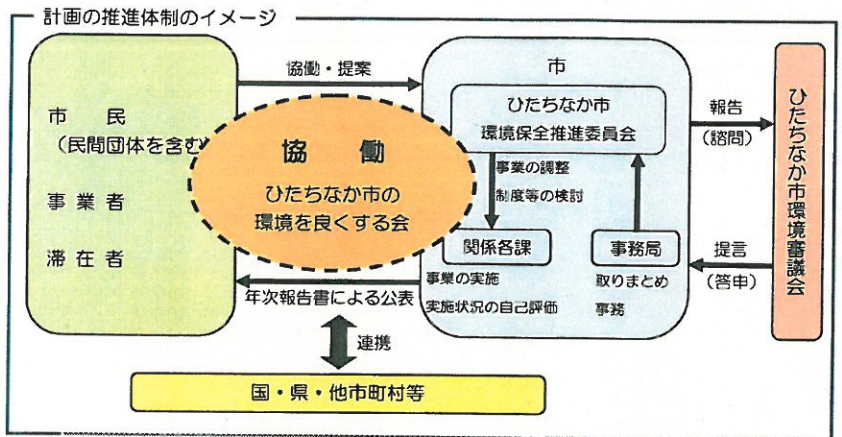
本会は、ひとちなか市の環境基本計画(平成14年策定)に基づき、市民、事業者と行政の連携・協力により環境を良くする活動を推進する目的で、平成20年3月に発足しました。ごみの減量、二酸化炭素の削減、自然環境の保護、イベントや講演会の開催などにより多くの方に関心を持っていただけるよう、皆で考え、立案し、実行しようとの理念のもと、協力しながら取り組んでいます。

『食品包装材に思うこと』

ひとちなか市環境審議会会長
蝦名 不二夫
(茨城工業高等専門学校名誉教授)

今やエコバックを携(たずさ)えてスーパーに買い物に行くのが当たり前の時代になってきた。資源の無駄遣い防止を目指したレジ袋廃止の推進は、市民に省エネ意識や自然に優しいエコ意識を植え付けてきたことは確かである。ただし、この廃止に伴い、どれくらい石油資源量が節約できたかは定かではない。

一方、退職を機に食事作りで台所に立つ機会が増えた小生にとって唖然としていることがある。それは、食事作りの度に台所のゴミ箱の中は、食材の各種プラスチック包装材で埋め尽くされることである。これらのほとんどは石油製品であり、その量はレジ袋削減量の比ではない。食品の品質や安全性を確保するために、いろいろな包装材が利用されていることに異議を唱える気はないが、石油資源の浪費を抑えるためには、その運用に多くの工夫が必要と思われる。プラスチック材の回収と再利用をもっと広範囲に推進したり、環境負荷の少ない生物資源の包装材への活用をさらに展開したりして、循環型社会に少しでも近づくよう切に願っている。



ひとちなか市環境基本計画より

編集者だよ

この原稿を書いている今は九月、秋の虫のシーズンだ。鈴虫、松虫、馬追、かねたなき、こおろぎ、きりぎりす、くつわむし、なじみの顔や声もあるが、あまり知らないのも居る。

鈴虫と松虫は昔、名前を交換したそうだが、不思議な話だ。

時が来れば彼らは楽団を結成し演奏を始める。冷えてきた間に妙な楽が広がる。

伝統の技を来年も再来年もいつでも聞かせてほしい。

一句
リーダーが居る虫たちの
オーケストラ
(渡辺寛)

ひとちなか市の環境を良くする会 事業所会員の紹介

<p>化粧品・日用品 アロマまで、石油系化学物質を使わない、人と環境を守る製品です。シナリー櫻季(株) TEL029-271-0766</p>	<p>ひとちなか・東海 ハイトラスト株式会社 ひとちなか市新光町 103-2 TEL(029)265-5371</p>	<p>ひとちなか馬渡店</p>	<p>木質バイオマス発電所 (株)バイオパワー勝田 ひとちなか市高野 1974-1 TEL029-270-3341</p>	<p>日立電動工具</p>	<p>私たちは、 美しい地球を次の世代へ！</p> <p>のスローガンのもとに、一丸となって地球環境の継続的改善と環境汚染予防活動を推進しています。 (株)日立製作所水戸事業所</p>
<p>ガーデン・エクステリアのデザイン・施工 http://www.mams-garden.com/ プロが選ぶガーデン雑貨の専門店 Mam's garden http://www.makipla.com/</p>	<p>リコーインダストリー(株) 勝田事業所 ひとちなか市武田1060 www.industry.ricoh.co.jp</p>	<p>廃棄物の中間処理施設 株式会社 カツタ ひとちなか市高野1968-2 TEL(029)270-3711 http://www.eco-katsuta.com/</p>	<p>廃棄物からエネルギーへ 勝田環境株式会社 ひとちなか市高野254-2 TEL029-272-2141 http://www.katsukan.com</p>	<p>Global Teamwork KOMATSU ひとちなか市高野120-4 TEL029-272-2141 http://www.komatsu.jp</p>	<p>会員募集</p>